

# 3 主な業務内容 Contents of Main Activities

## 1 展示 Exhibition

### ●常設展示(1F)

板橋区の歴史について紹介します。  
敷地内には、江戸後期に建てられた古民家(旧田中家住宅)や、板橋宿で栄えた貸座敷「新藤楼」の玄関が移築されています。

### ●企画展示(2F)

年に複数回おこないます(特別展、収蔵品展など)。

### ●コレクション展示(1F)

常設展示室の一角で、当館収蔵のコレクション資料を紹介します。

### ●ミニ企画展示(1F)

常設展示室の一角で、季節やイベントに合わせた展示をおこないます。2F企画展示と連携する場合もあります。



常設展示の様子



古民家(旧田中家住宅)



板橋宿貸座敷「新藤楼」の玄関

## 2 講演会・シンポジウム

Lectures/Symposiums

企画展示の開催中に、展示テーマに沿った内容の講演会やシンポジウムなどをおこないます。

## 3 博物館講座・体験学習・年中行事

Lessons on this museum / Hands-on learning / Annual events

古文書講座や勾玉づくり体験などを実施します。古民家では年中行事の飾りが楽しめます。(桃の節句・端午の節句・タナバタ祭り・お月見・マユダマ飾りなど)



桃の節句(ヒナマツリ)

## 4 武者行列事業

Samurai's procession activity

区内のまつり(農業まつり、梅まつりなど)で武者行列をおこないます。地域の子どもたちが鎧や着物姿で練り歩きます。※協力:いたばし武者行列保存会  
毎年5月5日(こどもの日)には、鎧の着付け体験を当館中庭でおこないます。古民家を背景に記念撮影ができます。



武者行列(梅まつり)

## 5 レファレンスサービス Reference service

板橋区の歴史や文化についての問い合わせを随時受け付けます。また、夏休み期間中は自由研究相談対応もおこないます。

※各事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止などにより内容変更・延期・中止となる可能性があります。

※ Each activity may be changed/postponed/canceled due to prevention of spread of COVID-19.

# 4 利用案内 Usage Guidance

開館時間 9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)  
9:30 a.m. - 5:00 p.m. (permitted to enter until 4:30 p.m.)

休館日 月曜日(ただし、月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)  
年末年始 ※展示の入替えや設備点検等で休館する場合があります  
Closed on Monday (in the case of any national holiday on Monday, opened on Monday and closed on the following day) and New Year's Holidays  
※It may be closed due to change of display, any equipment inspection, etc.

入館料 無料 Free of charge

### 交通案内

#### ■徒歩

- ①都営三田線「高島平駅」下車 徒歩13分
- ②東武東上線「成増駅」下車・東京メトロ「地下鉄成増駅」下車 徒歩23分

#### ■タクシー利用

都営三田線「高島平駅」西口または東武東上線「成増駅」北口から 約5分

#### ■バス利用

- ①都営三田線「高島平駅」下車 西口2番バス乗場  
(区立美術館經由成増駅北口行) にて区立美術館下車 徒歩2分
- ②東武東上線「成増駅」・東京メトロ「地下鉄成増駅」下車 北口2番バス乗場  
(区立美術館經由高島平操車場行) にて区立美術館下車 徒歩2分  
※美術館を経由しないバス(系統)もあるので乗車前に確認してください

| 国際興業バス発車予定時刻表 |              |       |          |  | 2021年3月現在 |               |          |       |  |
|---------------|--------------|-------|----------|--|-----------|---------------|----------|-------|--|
| 停留所           | 高島平駅 系統 増17  |       |          |  | 停留所       | 成増駅北口 系統 増17  |          |       |  |
| 行先            | 区立美術館經由成増駅北口 |       |          |  | 行先        | 区立美術館經由高島平操車場 |          |       |  |
| 時             | 平日           | 土曜    | 日祝       |  | 時         | 平日            | 土曜       | 日祝    |  |
| 8             | 21 46        | 30 56 | 30       |  | 8         | 09 29 50      | 15 28    | 25 58 |  |
| 9             | 13 53        | 15 51 | 01 31 53 |  | 9         | 17 48         | 01 24 48 | 32 55 |  |
| 10            | 27           | 27    | 27       |  | 10        | 24            | 24       | 22    |  |
| 11            | 03 39        | 03 39 | 03 39    |  | 11        | 00 36         | 00 36    | 00 36 |  |
| 12            | 15 51        | 15 51 | 15 51    |  | 12        | 12 48         | 12 48    | 12 48 |  |
| 13            | 27           | 27    | 27       |  | 13        | 24            | 24       | 24    |  |
| 14            | 03 39        | 03 39 | 03 39    |  | 14        | 00 36         | 00 36    | 00 36 |  |
| 15            | 15 51        | 15 49 | 15 51    |  | 15        | 12 48         | 12 48    | 12 46 |  |
| 16            | 27           | 23 53 | 23 53    |  | 16        | 27            | 20 52    | 20 52 |  |
| 17            | 10 43        | 28 51 | 28 49    |  | 17        | 00 20 45      | 23 41    | 27    |  |



## 板橋区立郷土資料館

〒175-0092 東京都板橋区赤塚五丁目35番25号  
TEL.03-5998-0081 FAX.03-5998-0083

E-MAIL kyoudo@city.itabashi.tokyo.jp

ホームページ https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyodoshiryokan/

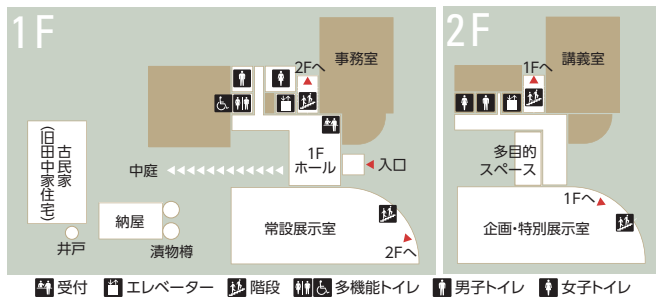
# 1 館紹介 Introduction of Museum

板橋区立郷土資料館は、昭和47年(1972)開館の文化施設です。赤塚城址および赤塚溜池公園に隣接しています。当館では、板橋区の歴史や文化に関わる資料を保存・調査しています。また、展示や教育普及事業を通じ、地域文化振興を図っています。



郷土資料館外観

Itabashi Historical Museum, next to Akatsuka Castle Ruins (Akatsuka-Jyoshi) and Akatsuka Pond Park (Akatsuka-Tameike-Koen), was established in 1972. This museum preserves/investigates some materials regarding history/culture of Itabashi City, and tries to promote the regional culture through display and educational promotion activities.



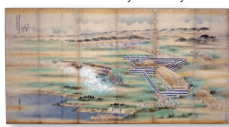
## 2 主な収蔵資料 Main Collection Materials

板橋区に関わるコト・モノの資料を収蔵しています。

### ●中山道板橋宿 Nakasendo Itabashi-shuku



### ●幕末の砲術家・高島秋帆と西洋流砲術 TAKASHIMA Shuhan (an artilleryist in the late Edo period) and western-style artillery

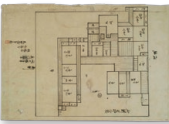


### ●戦時中の生活や学童疎開 Life during the war and evacuation by school children



### ●煎茶道 Sencha-do (Japanese green tea ceremony)

### ●江戸・明治期などの古文書 Ancient documents mainly during the Edo/Meiji period



### ●民具 (農機具など) Articles for everyday use (agricultural implements, etc.)



### ●甲冑刀剣類 Armor/Swords, etc.

本小丸黒系威丸銅具足 (伝・板倉家甲冑)

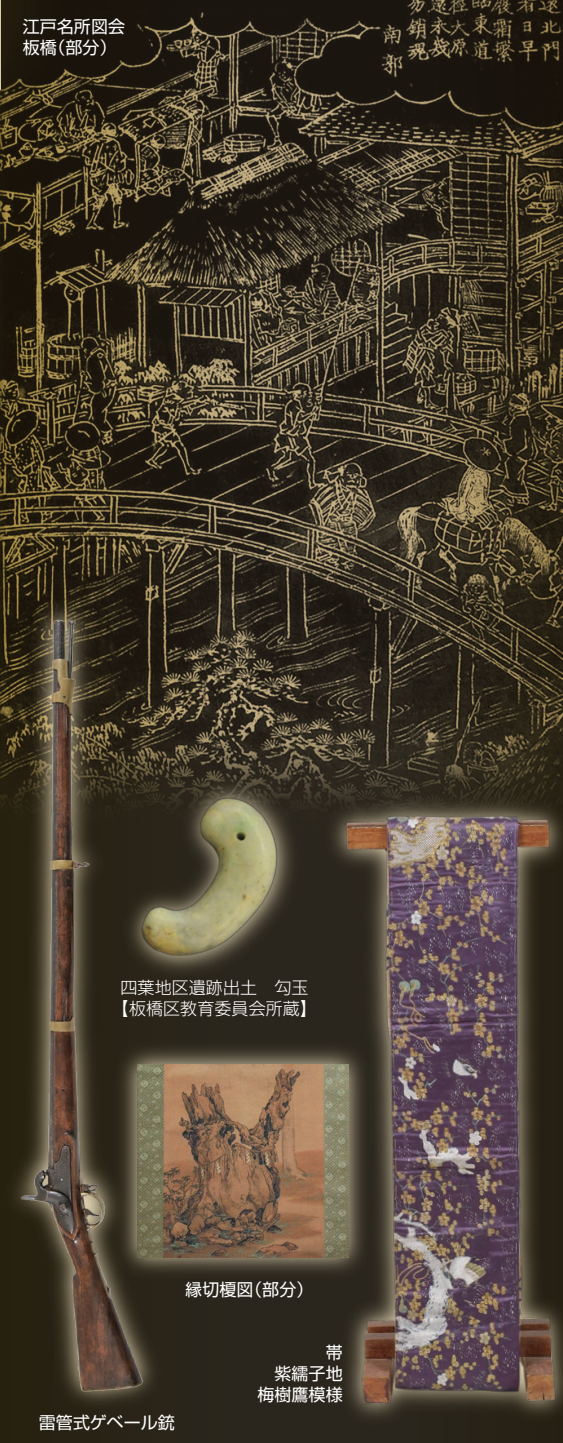


### ●伝統工芸 Traditional crafts

象牙細工「招き猫」像 区登録無形文化財技術保持者・櫻井廣明氏作



### ●人類学者・石田収蔵の北方民族調査 Survey on northern people by ISHIDA Shuzo (an anthropologist)



ITABASHI HISTORICAL MUSEUM  
Information about Exhibition In April, 2021 - March, 2022

令和3年度 展示案内



企画展示(2F)

連携協定記念展 Cooperation Agreement Commemorative Exhibition

2021年4月24日(土)～6月20日(日)

April 24 (Sat.) – June 20 (Sun.)

しぶ さわ えい いち たか しま しゅう はん

渋沢栄一×高島秋帆

SHIBUSAWA Eiichi and TAKASHIMA Shuhan

渋沢栄一は、近代において実業家として名を知られていますが、板橋区では困窮者や病人を保護する養育院(現、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター)の初代院長としてその手腕を振るい、福祉や医療にも貢献しました。実業家渋沢栄一のもう一つの顔を養育院に関する展示を通してご紹介します。

また、今年は高島秋帆が徳丸原(現、高島平)で西洋式の砲術調練を行って180年の節目となります。当館が収蔵する高島秋帆や西洋流砲術に関係する資料を紹介し、その実像に迫ります。



板橋区登録有形文化財  
旧養育院長渋沢栄一銅像  
(東京都健康長寿医療センターの敷地内に設置)



東京市養育院板橋本院正門  
【個人所蔵】



東京市養育院板橋本院全景  
【個人所蔵】

※板橋区は、令和2年11月1日に渋沢栄一記念財団、東京都北区、東京商工会議所、埼玉県深谷市、深谷商工会議所、ふかや市商工会の6者による「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」に新たに加入しました。

※Itabashi City newly joined the “Comprehensive Cooperation Agreement regarding Honoring of Eiichi Shibusawa” on November 11, 2020 consisting of Shibusawa Eiichi Memorial Foundation, Kita City (Tokyo), The Tokyo Chamber of Commerce and Industry, Fukaya City (Saitama), The Fukaya Chamber of Commerce and Industry and Society of Commerce and Industry.

収 蔵 品 展 Collection Exhibition

2021年7月10日(土)～9月20日(月祝)

July 10 (Sat.) – September 20 (Mon. / National Holiday)

板橋のねがい・いのり・くらし

—民間信仰と民具・絵馬—

Itabashi' s Wish/Prayer/Living – Folk Religion, Folk crafts, and Ema (Votive tablets) –

新型コロナウイルスの流行に伴い、疫病に関する予言をしたとされる妖怪・アマビエが注目されています。古来、人々は望みや幸福が叶うようにさまざまな存在に願いを託しました。

板橋にも多くの民間信仰が存在しました。史跡・縁切榎(えんきりえのき)は、江戸時代から板橋宿の名所として名高く、「悪縁を切り良縁を結ぶ」とも信じられ、多くの絵馬が奉納されました。各家や神社などにおいても、さまざまな年中行事や神事がとりおこなわれました。

今回の展示では、収蔵品を中心に、板橋区域の民間信仰に関わる資料や民具・絵馬をご紹介します、その歴史を振り返ります。



縁切榎樹片(初代)



武蔵御嶽山札  
(武蔵国御嶽山大口真神)



縁切榎小絵馬  
(女拝み・縁結)昭和時代



絵馬  
(眼病平癒祈願)

企 画 展 Rotating Exhibition

2021年10月9日(土)～12月19日(日)

October 9 (Sat.) – December 19 (Sun.)

再発見!いたばしの遺跡

—いたばしの弥生時代と古墳時代—

Rediscovery! Itabashi' s Remains  
– Yayoi Period and Kofun (Tumulus) Period at Itabashi –

板橋区では、弥生時代から古墳時代の遺跡が数多く見つかっています。弥生時代は、稲作の開始が大きな出来事です。区内でも弥生時代後期には、舟渡遺跡など荒川低地から遺跡が見つかり、稲作に関連し、集落が移動していたと推定されています。中でも弥生時代の終わり頃に位置付けられる前野町遺跡は、考古学的に著名な遺跡です。

古墳時代は、中央と地方、あるいは集落内に身分的な違いが見出される時代です。特に古墳にその傾向が現れており、遠隔地からのモノの移動から王権の介入を推定できる資料もあります。区内には現存する古墳がありませんが、発掘調査の積み重ねや古地図・文献などから明らかとなった古墳塚を紹介します。

展示では、時代の特徴に最新の発掘調査成果を盛り込み、「いたばし」における遺跡の動向を紹介し、実物資料から歴史を復原する考古学の面白さを伝え、出土資料の大切さを再認識する機会とします。



志村区画整理図(部分) 昭和初頭



前野町式土器(壺と甕)  
【常楽院所蔵】弥生時代末～古墳時代初頭



志村1号墳 測量調査写真  
【『東京府史蹟名勝天然紀念物』第13冊より引用】昭和10年(1935)

特 別 展 Special Exhibition

2022年1月22日(土)～3月21日(月祝)

January 22 (Sat.) – March 21 (Mon. / National Holiday), 2022

江戸と金沢を結ぶ“板橋”

—中山道板橋宿を訪れた大名たち—

Itabashi connecting Edo with Kanazawa  
– The daimyos who visited Itabashi-shuku on the Nakasendo Highway –

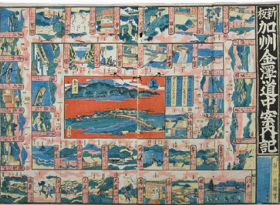
江戸と金沢は、信濃の追分宿で北国街道と中山道が合流して結ばれていました。この街道を参勤交代で利用したのは、加賀、信濃などを領国とする大名でした。

そして、参勤交代で江戸へ向かう大名は、板橋宿の宿所において江戸藩邸にいる家族からの使者や家臣の迎えを受けています。その中でも、加賀藩前田家は、板橋宿平尾に約21万8千坪という広大な下屋敷を構えており、ここに立ち寄って装束を整えたり、家族との対面の場所として使用するなど、諸大名の中でも特別な存在でした。

参勤交代では、それぞれが様々な思いを抱きながら江戸へ向かっていました。それは、彼らをおもてなしする板橋宿の人びとも同様です。今回の展示では、江戸と金沢を結ぶ街道を通り、板橋宿を訪れた大名たちと、板橋宿の人びとに注目します。そして、その当時の人びとのくらしの風景に思いを馳せていただく機会となれば幸いです。



諸国江戸道中略図(部分) 江戸時代



新板加州金澤道中案内記  
江戸時代 歌川豊国画



関札  
「榊原遠江守宿」  
【飯田博通家資料・個人蔵】江戸時代

コレクション展示(1F)

|                                         |                      |                         |                                             |                                   |
|-----------------------------------------|----------------------|-------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------|
| 2020年<br>12月1日(火)～<br>2021年<br>4月25日(日) | 4月27日(火)～8月1日(日)     | 8月3日(火)～10月17日(日)       | 10月19日(火)～2022年1月30日(日)                     | 2月1日(火)～4月24日(日)                  |
| 樺太アイヌ<br>—人類学者・樺太へ渡る—                   | いたばしの古文書<br>—村の事件簿編— | 戦に臨む<br>—甲冑の歴史と武装から見る戦— | 東京家政大学140周年記念展<br>板橋に残る裁縫雛形 —女性の自立を支えた女子教育— | 板橋区立郷土資料館日本画コレクション<br>花鳥風月ワンダーランド |

ミニ企画展示(1F)

|                      |                                |                        |                      |
|----------------------|--------------------------------|------------------------|----------------------|
| 2021年4月1日(木)～7月4日(日) | 7月6日(火)～10月3日(日)               | 10月5日(火)～2022年1月16日(日) | 1月18日(火)～4月3日(日)     |
| 鉄砲の変遷                | おうち時間 むかしのくらしと道具 —女性の楽しみ身だしなみ— | 知られざるいたばしの古墳           | 江戸手描友禅 寺澤森秋 —優美な染と技— |

年中行事(古民家周辺)

|                           |                  |                |                 |                     |                  |
|---------------------------|------------------|----------------|-----------------|---------------------|------------------|
| 2021年<br>2月20日(土)～4月4日(日) | 4月24日(土)～5月9日(日) | 7月3日(土)～11日(日) | 9月18日(土)～26日(日) | 2022年1月8日(土)～16日(日) | 2月19日(土)～4月3日(日) |
| 桃の節句(ヒナマツリ)               | 端午の節句            | タナバタ祭り         | お月見             | マユダマ飾り              | 桃の節句(ヒナマツリ)      |

※展示は、新型コロナウイルス感染拡大防止により内容の変更・延期・中止となる可能性があります。 ※ Each exhibition may be changed/postponed/canceled due to prevention of spread of COVID-19.